

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
作詞・作曲 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	坂詰美紗子/鈴木一義/日高愛津咲			実務 経験	有	職種	音楽家				
授業概要											
クリエイターとボーカリストがチームとなり、それぞれが持つ苦手分野を互いにフォローしつつ、一曲グループ制作する。共同でメロディー（旋律）を作れるようになる。コライト方式で楽曲制作に取り組んでみる。											
到達目標											
修了ライブに向けて或いは個人のアーティスト活動やオーディションで披露出来るような、オリジナル楽曲を作れるようになる。これまで作曲をやったことがない子も、この授業でオリジナル曲を制作してみる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
授業方法											
この授業では音楽理論の授業や作詞の授業など他の授業科目で学んだことを生かしながら、チーム制によって楽曲の旋律がかかるようになることを目的とします。											
成績評価方法											
試験・課題 成果発表 平常点	70% 20% 10%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 積極的な姿勢									
履修上の注意											
授業中の私語や受動態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	クリエイター、ボーカリストをチームに分ける										
第2回	どのような曲にするのかを各班に分かれて話し合う										
第3回	共同で楽曲制作をする場合の注意事項、ポイントなどを理解する										
第4回	コードのケーデンスを例として提示し、そこにメロディをはめていく方法を伝える										
第5回	ダイアトニックコードの復習										
第6回	コードにメロディーを乗せるときの注意として、コードトーンを理解する										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
作詞・作曲 3	
第7回	コードトーン及びアボイドのーについての再確認
第8回	メロディを鼻歌などで作り、そこにコードを当てはめる
第9回	楽器を使ってメロディを演奏し、正しい音を確認する
第10回	アボイドを意識しながらコードを並べていく
第11回	メロディが先の場合、何のキーなのかを理解する
第12回	キーから導き出したダイアトニックコードを使用してのコード付
第13回	サビを意識してメロディを作ってみる（8小節）
第14回	どう盛り上げるのか、そのラインづくり
第15回	サビ部分を全班が発表していく